

トライアル参加要項

コンバートEV1時間ディスタンスチャレンジ/ERK30分ディスタンスチャレンジ&0-200mタイムトライアル/
何でもEV展示&デモンストレーションに参加希望の方
参加申込者(ドライバー代表者)は、日本EVクラブ会員に限らせていただきます。

※エントリー受付方法が変わります。ご注意ください。
※エントリー希望者は、必ず仮エントリーを行ってください。
エントリーは下記手順で行います。

①
エントリー希望者は、
必ず仮エントリー申込書をFAXもしくはメールでお送りください。
仮エントリー締切：7月25日(木)

②
仮エントリー者に、本エントリー申込書をお送りします。
(メール申込の場合はHPより
申込書類(ワード)をダウンロードしていただきます)

③
本エントリー申込書類記入
・メール申込:申込書類(ワード)に直接入力し、
ワード(.doc)のまま添付してもらいます。
・FAX、郵送申込:申込書類に記入

④
本エントリー申し込み。
メール、FAX、郵送のいずれかで送付してください。
本エントリー受付期間
2013年8月5日(月)~8月10日(土)申し込み締切(厳守)
コンバートEV1時間チャレンジのスタート順は申込書到着順になります。
ERK30分チャレンジのスタート順はクラス毎に申込順になります。

自動車メーカー製EVオーナーパレードラン参加要項

- ・自動車メーカー製EV(*1)オーナーによるコース1周パレードランは、EVオーナーであればどなたでも(会員以外でも)参加できます。
*1:自動車メーカー製EVとは、国内外の自動車メーカーが製造販売しているEVのこと。
- ・参加ご希望の方は、ホームページより申込書をダウンロードしてお申し込みください(申込書の郵送をご希望の方は、日本EVクラブ事務局までご連絡ください)。
- ・申込締切は8月30日(金)、当日の受付はできません。必ず事前にお申し込みください。
- ・参加費：2,000円(自動車メーカー製EV1台+ドライバー1名)乗車定員内であれば同乗可、ドライバー以外の方はパドック&ピット入場券(1,000円/1人)が必要です。
- ・筑波サーキット見舞金(傷害保険料)：500円/1名がかかります(車両に乗車する方全員の加入が義務づけられています)
- ・申込受理後に参加費お振込みのご案内をお送りします。入場パス、タイムスケジュールのご案内は、10月上旬にお送りします(予定)

●ボランティア募集●

日本EVフェスティバルは、手作りのイベントです。
オフィシャル、会場設営等のお手伝いをいただくボランティアを募集しています。
ご希望の方は申込書のボランティア希望欄に印をつけてください。
オリジナルボランティア・キャップを差し上げます。
ご協力をお願いします!

参加費

◆コンバートEV 1時間ディスタンスチャレンジ

- ・1チームは、車両1台+ドライバー2名以上、人数無制限[ドライバー代表者(日本EVクラブ会員)を含むこと]
- ・参加費：39,000円/台(ドライバー6名まで。ドライバー数が6名を超える場合は、7名目から、1名につき3,000円の追加参加費がかかります。)+筑波サーキット見舞金(傷害保険料)：500円/人

◆ERK 30分ディスタンスチャレンジ&0-200mタイムトライアル

- ・1チームは、車両1台+ドライバー2名以上、人数無制限[ドライバー代表者(日本EVクラブ会員)を含むこと]
- ・参加費：15,000円/台(ドライバー6名まで。ドライバー数が6名を超える場合は、7名目から、1名につき3,000円の追加参加費がかかります。)+筑波サーキット見舞金(傷害保険料)：500円/人

◆何でもEV展示&デモンストレーション

- ・参加費：6,500円[車両1台+出展者兼デモ走行参加者(日本EVクラブ会員)1名]+筑波サーキット見舞金(傷害保険料)：500円(最速デモンストレーション参加希望者は事務局までご連絡ください)

筑波サーキット見舞金(傷害保険)の加入：ドライバー全員の加入が義務づけられています。

申込書受理後、ドライバー代表者あてにトライアル規則書/車両規則書、タイムスケジュール、昼食のご案内等ご連絡します。

参加費および見舞金、その他の振込については、9月中旬にご案内します。指定日までに指定の口座にお振り込みください。出場をキャンセルした場合、参加費の返却はできません。

参加費等の入金確認後、入場パス、地図等を10月上旬にお送りします(予定)。

入場料(前売り券)のご案内

本フェスティバルは入場無料です(メインスタンド観客席へ入場できません)。駐車場は有料(4輪：1,000円、2輪：500円)

パドック&ピット(出場車両のパドック、環境EXPO/エコカー試乗会会場を含む)への入場は有料です。

パドック&ピット入場券は前売りします。ご希望の方は、「前売り券申込書」を日本EVクラブ事務局までFAXまたは、郵送してください。同時に、枚数分の代金をお振り込みください。振込口座は申込書に記載しています。8月上旬よりホームページからもお申し込みいただけます。

パドック&ピット入場パス、スケジュール等は10月上旬ごろお送りします(予定)。

■パドック&ピット入場料/前売り券

- 会員 500円(当日1,500円)
- 非会員 1,000円(当日1,500円)
- 小・中学生 500円(当日500円)小学生未満は入場無料です。小学生以下は、保護者の同伴が必要です。

◆前売り券申込締切：2013年9月25日(水)

お問い合わせ/申込書送付先：
日本EVクラブ事務局
〒156-0043東京都世田谷区松原 2-20-10-401
TEL 03-5376-8446 FAX 03-5376-5310
http://www.jevc.gr.jp/ E-mail info@jevc.gr.jp

Japan EV Festival 2013

Reducing CO₂

第19回 日本EVフェスティバル 開催概要・参加要項

開催趣旨

2012年の年末にメルセデス・ベンツ日本からスマートのEVであるスマート・エレクトリックドライブが発売になりました。2014年になると登場を待ちかねていたようにまずBMWのi3が、そして春にはVWからe-up!が、さらにeゴルフが日本で発売になります。ヨーロッパからEVが続々と上陸します。

国内ではプラグインハイブリッドが興隆するでしょう。トヨタのプリウスPHVに続いて、三菱からアウトランダーPHEVが、そしてホンダからはアコードPHVが登場しました。ハイブリッドは普通のクルマになった今、これからはさらにEVに近い自動車であるプラグインハイブリッドの時代だということでしょう。

EVは高い、航続距離が短い、充電インフラが整備されていないから普及しないといわれてきました。

しかし、次世代自動車充電インフラ整備促進事業として1005億円もの補正予算が承認されたことで、2014年の秋までに、ガソリンスタンド4万6000箇所、道の駅1000箇所、コンビニ4万6000箇所、ショッピングセンター3000箇所におよぶ急速充電器・普通充電器が設置される予定です。もう「充電インフラが整備されていないからEVは普及しない」とはいえなくなります。

また、ドイツのボッシュ、三菱商事、GSユアサは合弁会社を設立し、2017年までに航続距離が400kmもの電池の量産技術を確認するという発表がありました。他の電池メーカーも技術開発を急ぐに違いありません。もう「航続距離が短いからEVは普及しない」とはいえなくなります。

そして、トヨタは近々にHV用電池をニッケル水素からリチウムイオン電池に切り替えるということですから、リチウムイオン電池は大量生産時代に突入します。これはリチウムイオン電池価格の急激なコストダウンを意味しています。「EVは高いから…」という神話も崩れることでしょう。

EVの普及を妨げていた3つの神話が崩れます。その結果、2015年にEVは爆発的に普及します。その助走に当たるのが今年の第19回日本EVフェスティバルであり、来年の日本EVクラブ設立20周年記念に当たる第20回日本EVフェスティバルです。

EVの大量普及は目前です。そこに向けて今年も日本EVフェスティバルを盛り上げようではありませんか。

日本EVクラブ 代表 館内 端

日時 2013年10月14日(月・祝) 8:00~16:30

場所 筑波サーキット・コース2000
茨城県下妻市村岡乙159 TEL 0296-44-3146

後援 (予定) 環境省 国土交通省 経済産業省 茨城県 茨城県下妻市
一般財団法人 日本自動車研究所

主催 日本EVクラブ

共催 一般財団法人 日本オートスポーツセンター